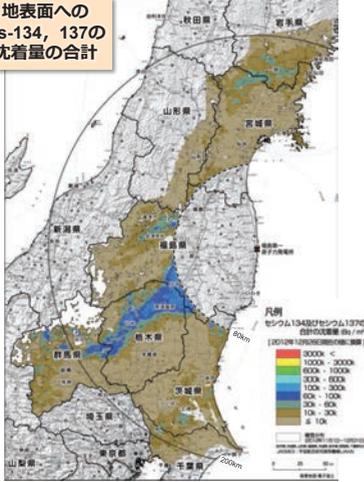


放射性セシウムと放射性ヨウ素の沈着状況

セシウム134、セシウム137 (広域と80km圏内)

福島第一原子力発電所から80km圏外の
航空機モニタリング結果
(平成24年12月28日現在の値に換算)

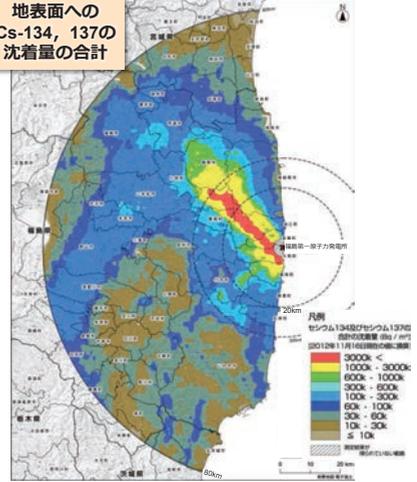
地表面への
Cs-134, 137の
沈着量の合計



Bq/m² : ベクレル/平方メートル

福島第一原子力発電所から80km圏内の
第6次航空機モニタリング結果
(平成24年11月16日現在の値に換算)

地表面への
Cs-134, 137の
沈着量の合計



文部科学省報道発表 平成25年3月1日

この図は、航空機モニタリングの測定結果を基に、福島県と近県における土壌表層中の放射性セシウムの沈着状況を示したマップです。

平成24年6月に、降雨等の自然環境による影響を含めた放射性物質の影響の変化の状況を確認するために行われたものであり、マップの作成に当たっては、航空機モニタリングを実施した最終日である平成24年11月16日現在と平成24年12月28日現在の値に換算されています。

平成23年11月5日の航空機モニタリングの測定結果と比べると、空間線量率が約40%減少していることが確認されました。この期間における放射性セシウムの物理的減衰に伴う空間線量率の減少は約21%であることから、東京電力福島第一原子力発電所から80km圏内における空間線量率の減少傾向(下巻P15、「空間線量率の推移(80km圏内)」)は、放射性セシウムの物理的減衰に伴う空間線量率の減少よりも大きいことが確認されました。

本資料への収録日：平成25年3月31日

改訂日：平成28年1月18日

7.2 放射性セシウムと放射性ヨウ素の沈着状況